

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI西宮		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動メインに行っている事業所の為、学校種目やスポーツ種目だけでなく、日常生活動作の向上なども様々な運動動作から成長を促せるように関わっている	就学のタイミングに学校種目を活動内に取り入れるためボール転がし、追いかけてっこ、動物模倣など、少しずつ縄跳びは縄を使わずフープで跳ぶタイミング手を回すタイミングの練習を行ったり、本当に低い高さのハードルでゆっくり跨いだりしているうちに跳んでいるようになる等遊びながら将来学校種目を行えるように少しずつ無理なく取り組んでいる	各種目の基礎となる部分をできるだけ小さいお子様から取り組める様にそして少しずつ出来るようになるだけでなく、より完成度が高く活動できるように取り組んでいる
2	曜日などで定期利用を推奨しているため運動習慣の構築、余暇活動の体験など現在だけでなく、将来を見据えた療育の提供を行っている	急用などでお休みしてしまった際には、別曜日の振替提案を行い、運動習慣を継続できるように取り組んでいます	自宅でできる運動などを提案し、当事業所の利用日以外でも運動に取り組める様に行っていく
3	年令に応じた制作やゲームなどを週ごとにまた季節や行事に沿ったイベントを行っている	季節だけでなく運動遊びで行っている種目をイベントに取り入れたり、お子様一人一人丁寧に危険のない様見守りながら楽しんで頂ける様に取り組んでいる	お子様の段階に応じた運動が出来るように取り組んでいく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがない為(保護者様の負担が大きい)	事業所からの送迎を行っておらず保護者送迎の為	年齢が上がれば当事業所と保護者様で相談し、児童の自力通所を提案していくこともできますが、児童発達支援のお子様では自力通所は難しいです。お車でお越しの方は事業所前でお子様をお預かりしてお車をパーキングに入れて頂けるようにすると少しご負担も少なくなると思います
2	制作やお絵描きブロック遊びなど着席して行う活動が少ない	運動がメインになっているため	自由時間の際に選択肢(お絵描き、塗り絵、ブロック、絵本等)をお子様に提案していく
3	送迎サービスがない為(保護者様の負担が大きい) お仕事をされている保護者さまが通って見たいけど無理だね。と諦めてしまわれること	小さい時からご利用いただくより効果が出ますが、人員や費用・工数などを考慮すると難しい課題となります	お仕事をされておられるご家庭に対して行政が、保護者様のお手伝い(送迎できるボランティアの方をご紹介いただけましたら)お子様の将来によりできることが増える、よりコミュニケーションを楽しむことが出来る等お困り事も少なくなるのではないかと思います

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI西宮

公表日 2025年 2月 21日

利用児童数 25

回収数 8

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8				のびのびと活動できている	活動室全体を使って様々な活動に取り組んでいます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8				子どもの人数と同じか多いくらいで安心できる	指導員の人手が足りない場合は他教室へ応援を要請しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				特性だけでなく子どもの興味関心にも寄り添ってけている	教具を出しっぱなしにせず、児童が話を聞きやすい様な環境設定で活動に取り組んでいます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1			特性だけでなく、子どもの興味関心にも寄り添ってくれる	各児童の特性と共に興味のある活動等も取り入れながら支援しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				こどもの現状と少し先を見て身につけたい課題に焦点を当てていて、気づきがある	現在の課題と次の課題をアジェンダから児童が自力でできることを増やしていきます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1	子どもの成長を感じている	活動中には運動面だけでなく、ソーシャルスキルを養えるように関わっています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8				季節の行事や、園での活動に合わせている	季節のイベントだけでなく学校体育に繋がるイベントなども行っています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		1	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6		1	1	金曜の夕方が一番疲れている時間の為少し休みたがることもあるが、それを認めつつタイマーなどを使って気持ちをかえてくれる	気が乗らない時など無理に運動を進めるのではなくタイマーの使用、環境を変えることで気持ちの変化を促しています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2		4	保護者同士の交流があればうれしい特に発達が同じくらいの子を持つ保護者さん	保護者同士の交流は少ないですが親子プログラムとして活動の様子を見学して頂く場面で保護者同士の交流の促しを考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			2	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6			2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				親子分離の時間に定期的に訓練してもらっているので実際に災害があった場合でも子供たちを迎えに行くまで対応してもらえる
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				今のところがいつということはないが、十分に対応してもらえると感じている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				先生一人一人の名前を憶えてとても親しみを持っている
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7			1	風邪気味でも行きたいと言ってくれます
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				いつも笑顔で迎えて頂き、またねと笑顔で送り出してくださりありがとうございます
							それぞれの指導員の顔写真があり毎回の活動時に運動を進める先生など役割を児童に伝えていきます
							各児童が楽しんで取り組めるルールなどで活動しています
							お褒めの言葉を頂きありがとうございます 最良の支援を目指して参ります

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI西宮
------	----------

公表日 2025年 2月 21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		従業員がお休みを取る時などは、他教室に応援を頼んでいる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		広いフロアで物はすぐに片づけてケガをしないように気を付けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		4		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	食事の提供を行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI西宮教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動をメインに行っている事業所の為、学校種目やスポーツ種目だけでなく、日常生活動作の向上なども様々な運動動作から成長を促せるように関わっている	跳び箱などの学校種目を活動内に取り入れ、自信を持って学校種目を行えるように取り組んでいる	各種目ができるようになるだけでなく、より完成度が高く活動できるように取り組んでいく
2	曜日等で定期利用を推奨しているため運動習慣の構築、余暇活動の体験など現在だけでなく、将来を見据えた療育の提供を行っている	急用でお休みしてしまった際には、別曜日の振替提案を行い、運動習慣を継続出来るように取り組んでいる	自宅のできる運動などを提案し、当事業所の利用日以外でも運動に取り組める様に行っていく
3	週ごとに季節や学校行事に沿ったイベントを行っている	季節だけでなく学校体育で行っている種目をイベントに取り入れ、各児童に細かく助言できるように取り組んでいる	各児童の段階に応じた助言が出来るように取り組んでいく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の負担が大きい	事業所からの送迎を行っておらず、保護者送迎の為	当事業所と保護者様と相談し、児童の自力通所を提案していく
2	制作や勉強などの座学の時間が少ない	運動をメインに行っているため	自由時間の際に座学の選択肢(お絵描き、塗り絵、折り紙等)を児童に提案していく
3	中高生の受け入れが少ない	利用児童の大半が小学生の為、中高生の利用が少なく運動に対して物足りなさを感じているため	中高生の利用時に対して、難易度の高い運動メニューの提案を行っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI西宮教室

公表日 2025年 2月 21日

利用児童数 37

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			4	広いスペースだと思います	今必要のないものは片づけています
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			4	子どもと同じくらいいて、見ていて安心	安全を配慮した人数設定をしています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1		4		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			4		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8			4		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			5		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			5		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	4				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	5	2	2			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	4				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	4				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10		1	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1		4		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2		4			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			事前に次回の活動についての連絡があり、本人もスムーズに取り組める様になっている	ご利用前の営業日に当日行うプログラムをお伝えしています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			親子分離の時間に定期的に訓練してもらっているので実際の災害があった場合でも子どもたちを迎えに行くまで対応していただける	災害発生時の避難訓練や不審者の対応等の訓練を都度行っている
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10		2	今のところがいとうすることは無いが、十分に対応してもらえると感じている	児童がけがをした際、アイシングなどの対応を行っています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			先生1人1人の名前を憶えてとても親しみを持っている	それぞれの指導員の顔写真があり、毎回の活動時に運動を進める先生など役割を児童に伝えていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	1	風邪気味でも行きたいと言ってくれます	各児童が楽しんで取り組めるルールなどで活動しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			いつも笑顔で迎えて頂き、またねと笑顔で送り出してくださりありがとうございます	お褒めの言葉を頂きありがとうございます 最良の支援を目指して参ります

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI西宮教室				
			公表日 2025年 2月 21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		フラットな床面での活動の転倒が少ない		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別で落ち着く場所として提供している		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	食事の提供を行っていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				